

東京芸術大学は、専門学校であった東京美術学校と東京音楽学校が昭和二十四年に新制大学として統合された、わが国唯一の国立の芸術大学であります。

東京美術学校の草創は明治十七年に文部省に置かれた図画調査会に溯り、翌十八年、その決議により文部省図画取調掛が発足、明治二十年東京美術学校と改称しました。

東京音楽学校は明治十二年、文部省に音楽取調掛が置かれたのがその始めで、明治二十年に東京音楽学校と改称、明治二十六年から一時期東京高等師範学校の附属音楽学校となりましたが、同三十二年には再び独立しました。

このように、両校の発祥の経過は異なっておりますが、明治二十年にはともに文部省直轄学校として学校体系の中に位置づけられました。以後今日にいたる道は必ずしも平坦ではありませんでしたが、時に当たった先輩諸氏の努力によって、多くの人材を養成し、わが国の芸術の分野において重要な役割を果たしてきました。

昭和六十二年に創立百周年を迎えた本学は、その記念事業の一環として、わが東京芸術大学の百年史を刊行することになりました。いま百年に及ぶ長い歴史を振り返ることは、本学に課せられた使命であるところの、芸術分野における教育・研究の充実と発展にとって、極めて有意義なものと考えます。

百年の資料を調査収集し、編纂する仕事は容易なことではありません。このために長期の時間と努力を費やされた方々と御協力いただいた方々に心から感謝申し上げますとともに、今後の大方の御協力をお願い申し上げます。

平成二年七月

東京芸術大学学長 平山郁夫